

算数教室通信

町田市立本町田東小学校
2024年7月19日(金)
算数教室通信 No.1
発行者: 算数少人数担当 阿達 直彦

新学年が始まって、早いもので4か月が過ぎようとしています。3年生～6年生は、基本的に毎日算数の学習があります。

「算数、て苦手…」 「計算大変なんだよね…」 こんなの声4月当初はたくさん聞かれました。今も決してその悩みが全て解決!!…したわけではないと思いますが、授業の中でも一生懸命練習をしたり、友達と解き方や考え方を「こうじゃない?」と話し合ったりする姿もたくさん見られました。こうした1時間の積み重ねを、これからも大切にしたいです。少ない回数ではありますが、それぞれの学年の7月までの様子をお伝えします。9月からも、どうぞよろしくお願い致します。

3年生

4月から少人数での学習が始まりました。「分かる!」「できるようになれた!」という声がとても多く、毎時間の授業が活気に満ちています。

クイズから始まり、時や時間の計算、そしてわり算…と学習が進む中で、子供たちはより簡単に、正しく答えを導くためのきまりを考えました。

498+352をかんたんやろう! 「たしひき作せん」

$$\begin{array}{r} 498 + 352 = 850 \\ \downarrow +2 \quad \downarrow -2 \\ 500 + 350 = 850 \end{array}$$

たしてひいた1500にたは分、余計にたした2を352からひく!

すい! 暗算できる!

「お、00作せん作ろうよ!」「今までの勉強が使えるね!」 こんなの声聞かなくていいかな。自分たちでよりよい方法を見つけ、それを試して、新しいきまりを作っていく… こうしてどんどん賢くなっていくなら素敵です。

4年生

「実生活で生かす…」これが学習のキーワードです。しじょうの整理の学習で、まとめの活動として、「東小のけかを減らすために、ポスターを作って呼びかけよう!」という学習をしました。

4月からの保健室のデータをお借りして、どのようなけかの種類が多かったのか、自分たちで分析しました。そして、わかったことから、どんなことを全校のみんなに呼びかけたいのかを考え、ポスターにまとめました。

- 表を入れてまとめた人
 - グラフィにした人
 - イラストをたくさん使った人
 - キャッチコピーを一生懸命考えた人
- どの子も短い時間で考え、工夫して作っていました。問題を解くことも大切ですが、「分かったことをどう生かすか…」という学習も積み重ねていきたいです。 ※算数教室に掲示しております。御来校の際、ぜひ御覧ください。



打ぼくがいちばんおおいから打ぼくにきをつけよう。

5年生

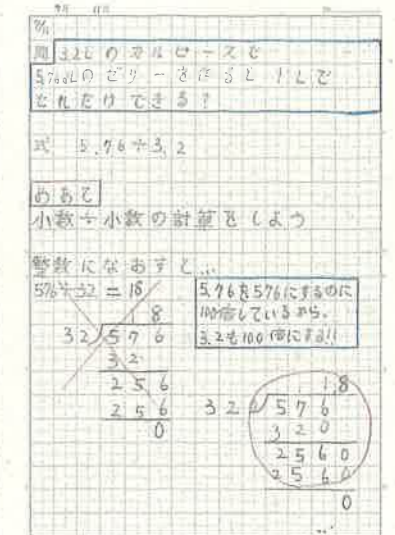
ノートを工夫して書くことが上手になってきました。右下の写真はある児童のものですが、このような記述があります。

5.76を576にするのに100倍しているから、3.2も100倍にする!

小数のわり算の学習で、「整数にして計算する」という約束に従って計算しているのですが、どうも答えが違っていました。そこでわり算のきまり「わる数とわる数、どちらにも同じ数ずつかける」というものを使えば、正しく計算できることが分かりました。

ともするとノートは、黒板をうつすことと終始しがちですが、右のような思考の流れを見えるようにすることで、理解も深まります。

5年生のノートは、このような「よいつぶやき」がたくさん書かれていて、主体的に学習する姿勢が身に付いているなと感じます。



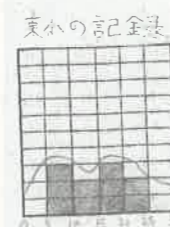
6年生

算数→数学に向けて、少しずつ学習が高度化、抽象化してきます。

今まで□で表していたものが「文」となると、分数でかかれたり、わたりと、具体物での説明が困難なものも多くなります。授業の中では「言葉を図や式にする」、「図や式を言葉にする」などを繰り返して、できるだけイメージをもてるようにしてきました。

最後の単元「資料の整理」の学習では、様々なデータ分析の仕方を学んだ上で、自分たちの考察をまとめて「ミニレポート」を作りました。

東小の6年生の体力の様子はどうなっている?



| 投げた長さ | 人数 |
|-------|----|
| 10~15 | 2 |
| 15~20 | 3 |
| 20~25 | 2 |
| 25~30 | 1 |
| 30~35 | 0 |
| 35~40 | 0 |

〈自分の考え〉
度数分布表を見て東小のソフトボール投げは20m以上できていることがわかりました。平均と比べると、東小は44mでした。全国の平均は20.3で東小は全国の平均より低い重さのボールを使っています。

自分たちの体力テストの結果を分析しました。さすが6年生です。昨年度、総合で食糧問題についてまとめた経験があるので、まとめ方も工夫されている子が多かったです。

完成したものは算数教室に掲示しようと考えています。学校公開等で御来校された際には、ぜひ御覧ください。

※どの学年にも、クイズ九九が未定着の子が数人います。全ての学習の基盤となるので、ぜひこの夏休み中に身に付けておきましょう。 順番→逆から→バラバラなど、何度も繰り返し練習することが大切です。

この夏休みに、算数の「感覚」を身に付ける体験をしてみましょう!

毎日の生活の中で… 「〇時に家を出るためには、△分には準備を終わらせよう。」 「そのためには☆分前からは動こう。」 など、時間の感覚を身に付けさせる声かけ。

旅行中に… 「東京～大阪まで、〇時間〇分かかるね。」 「道のりは△△kmあるから…」 「時速は△kmくらいだね。」 など、速さの量感を身に付けさせる。

宿題中も… 「あー間違えちたー!」「よく式を見てごらん。」 「あ!かけ算なのに小さくなる!!、何気ない会話の中での、気づきを促す声かけ

実生活の中で自然に体験を重ねさせることが、子供たちの豊かな量感を身に付けさせることにつながります。ぜひ、「ちょっとの声かけ」をよろしくお願い致します。